



第39回日本乾癬学会学術大会 モーニングセミナー1

長期的視点で考える掌蹠膿疱症の治療戦略

日時 2024年8月25日（日） 8:00～9:00

会場 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター
(グランフロント大阪 北館B2F「ホールB」 B会場)
〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1

講演1 08:00～08:30

座長 河野 通浩 先生 秋田大学大学院医学系研究科 皮膚科学・形成外科学講座 教授

「掌蹠膿疱症で生物学的製剤を導入すべき患者像」

Patients with palmoplantar pustulosis who should be introduced to biologics

演者 杉浦 一充 先生 藤田医科大学医学部 皮膚科学 教授

講演2 08:30～09:00

座長 梅澤 慶紀 先生 東京慈恵会医科大学 皮膚科学講座 教授

「掌蹠膿疱症の長期的治療における経験に基づくポイント」

Points based on experience in long-term treatment of palmoplantar pustulosis

演者 名嘉真 武國 先生 久留米大学医学部 皮膚科学教室 主任教授



詳細は大会ホームページ（第39回日本乾癬学会学術大会 (jspr39.jp)）をご確認ください。

共催

第39回日本乾癬学会学術大会
大鵬薬品工業株式会社 ヤンセンファーマ株式会社

患者さんの活動的な日常を
取り戻すために

トテムフィア®
(guselkumab)